

群馬県男女共同参画年次報告書

(平成26年度実績報告)

平成27年10月

群馬県

はじめに

少子高齢化の進展をはじめ、社会経済情勢が急速に変化するなかで、持続可能な活力ある社会を維持していくためには、男女がともに人権を尊重し、責任を分かち合いながら、その個性と能力を最大限に発揮することができる男女共同参画社会の実現が重要な課題となっています。

国においては、平成27年8月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が成立し、今後、企業等における女性活躍のための環境整備が期待されます。このほか平成27年度から新たに「女性活躍加速のための重点方針」が決定されるようになり、女性活躍の動きがさらに加速されるなど、男女共同参画社会の推進に向けた大きな動きがありました。

本県においては、平成16年3月制定の「群馬県男女共同参画推進条例」や平成23年3月策定の「群馬県男女共同参画基本計画(第3次)」に基づき、男女共同参画施策を総合的・計画的に進めているところですが、国の動きをはじめとした環境変化を背景に、企業だけでなく、あらゆる分野の女性の活躍推進に注力しており、平成26年度は、様々な分野での女性リーダーの人材育成、異業種間のネットワーク構築、女性の起業等のための各種事業を行い、女性の活躍機会の拡大や活躍の場の創造に向けて取り組んでまいりました。

また、平成27年度については、地域における様々な企業・団体等と連携して「ぐんま女性活躍大応援団」を設置し、女性への応援メッセージを発信しているほか、女性活躍推進フォーラムや女性表彰を実施するなど、女性の活躍推進を県民運動として展開するため取り組んでいるところです。

この年次報告書は、群馬県男女共同参画推進条例第7条に基づき、本県の平成26年度男女共同参画の推進状況、県の施策の実施状況及び平成27年度実施する施策を取りまとめたものです。

本書が多くの皆様に男女共同参画社会についての理解と関心を深めていただく資料として活用していただければ幸いです。

平成27年10月

群馬県生活文化スポーツ部人権男女・多文化共生課長 角田 淑江

目 次

第1部 男女共同参画の推進に関する施策の推進状況	1
1 平成26年度に講じた主な施策の推進状況.....	1
（1）群馬県男女共同参画推進委員会.....	1
（2）男女共同参画フェスティバル.....	1
（3）男女共同参画推進員の設置.....	2
（4）事業所男女共同参画推進事業.....	2
（5）女性のキャリア形成支援事業.....	2
（6）女性に対する暴力根絶及び被害者支援のための取組.....	3
（7）男女共同参画の推進に関する意見の受付.....	4
（8）男女共同参画講演会（ぐんま男女共同参画センター）.....	4
（9）活動支援事業（ぐんま男女共同参画センター）.....	5
（10）女性のチャレンジ支援事業（ぐんま男女共同参画センター）.....	6
（11）父親の子育て支援事業（ぐんま男女共同参画センター）.....	9
（12）人材育成事業（ぐんま男女共同参画センター）.....	9
（13）調査事業「男女共同参画データブック」（ぐんま男女共同参画センター）.....	11
（14）情報収集と提供（ぐんま男女共同参画センター）.....	11
（15）相談事業（ぐんま男女共同参画センター）.....	12
（16）貸室事業（ぐんま男女共同参画センター）.....	12
（17）女性健康支援センター事業（保健予防課）.....	12
（18）放課後児童クラブの推進（子育て支援課）.....	12
（19）女性農業者活動支援事業（技術支援課）.....	12
（20）輝く女性のキャリアアップシンポジウム（労働政策課）.....	13
（21）群馬県育いきいき参加企業認定事業（労働政策課）.....	14
（22）ぐんまのイクメン・イクボス養成塾（労働政策課）.....	14
（23）ジョブカフェ・マザーズ（女性の再就職相談窓口）（労働政策課）.....	15
（24）ぐんま県民カレッジ（生涯学習課）.....	15
2 群馬県男女共同参画基本計画（第3次）の数値目標達成状況.....	16
3 平成26年度男女共同参画施策事業一覧.....	18
第2部 平成27年度に講じる男女共同参画の推進に関する施策	26
1 主要事業について.....	26
2 平成27年度男女共同参画施策事業一覧.....	27
第3部 男女共同参画に関する主な指標等	36
1 男女共同参画をとりまく状況.....	36
2 制度・慣行の見直しと意識の改革.....	38
3 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大.....	39
4 女性に対するあらゆる暴力の根絶.....	40
5 家庭・雇用の場における男女共同参画、仕事と生活の調和.....	41
第4部 県内市町村の状況	42
1 男女共同参画行政担当課一覧.....	42
2 地方自治法（第202条の3）に基づく審議会等の女性の登用状況.....	43
3 市町村男女共同参画計画・男女共同参画条例の策定状況.....	44
4 男女共同参画・女性のための総合的な施設設置状況.....	44
第5部 資料	45
1 群馬県男女共同参画推進条例.....	45
2 男女共同参画社会基本法.....	46
3 男女共同参画に関する国内外の動き	49

第1部 男女共同参画の推進に関する施策の推進状況

1 平成26年度に講じた主な施策の推進状況

(1) 群馬県男女共同参画推進委員会

群馬県男女共同参画推進条例の規定に基づき、基本計画その他の男女共同参画に関する基本的かつ総合的な施策及び重要事項を調査審議するために委員会が設置されています。委員の内訳は、学識経験者4名、各分野代表9名、公募2名の計15名です。

平成26年度における委員会開催状況(開催回数 3回)

開催日	審議内容
平成26年 5月 2日	・男女共同参画社会推進のための拠点施設のあり方検討委員会提言について ・男女共同参画社会に関する県民意識調査の実施について
平成26年10月31日	・男女共同参画の推進状況について ・地域女性活躍加速化交付金事業進捗状況について ・男女共同参画社会に関する県民意識調査の実施について
平成27年 3月10日	・男女共同参画社会に関する県民意識調査等結果報告(案)について ・第4次群馬県男女共同参画基本計画について

(2) 男女共同参画フェスティバル

男女共同参画社会への理解を深めるために、「男女共同参画週間」にちなんで、群馬県女性団体連絡協議会と共催し、「男女共同参画フェスティバル」を開催しました。

- ・期 日：平成26年6月28日(土)
- ・会 場：ぐんま男女共同参画センター
- ・テーマ：「輝こう 群馬の女と男」
～みんなの未来はあったか社会～
- ・内 容：展示、啓発グッズ配布、バザー、お茶席
シンポジウム

「ぐんまの元気は女性の活躍から」

パネリスト：株式会社倭組 専務取締役 内田 孝嗣氏

広告会社勤務 後藤 恵里子氏

弁護士 吉野 晶氏

群馬県労働政策課 女性・若者就職支援主監 福田 順子氏

コーディネーター：群馬県立女子大学教授 小林 良江氏

- ・参加者：418名



男女共同参画週間とは

男女共同参画社会基本法の施行(平成11年6月23日)を記念して、毎年6月23日から29日までの期間を「男女共同参画週間」と定め、法律の目的及び基本理念に関する国民の理解を深めるため、国、地方公共団体が全国で様々な行事を開催しています。

(3) 男女共同参画推進員の設置

社会人が一日の活動時間の多くを過ごす職場における男女共同参画の推進は、地域や家庭にも大きく影響するため、男女共同参画社会の実現に極めて重要な意味を持ちます。

「群馬県男女共同参画推進条例」に規定された「男女共同参画推進員」は、職場における男女共同参画推進の中心人物となっていただく方で、平成27年3月31日現在、420事業所において設置されています。県は情報の提供等により、推進員の取組を支援しています。

(4) 事業所の男女共同参画推進事業

群馬県立女子大学と連携し、県内の男女共同参画推進員設置事業所を訪問してロールモデルのヒアリング調査を実施し、取組の好事例などを情報発信しました。

事業所訪問及び取材：県内5社

講演会及び成果発表：平成27年2月10日開催（労働政策課「イクボス養成塾」と共催）

- ・講演会 講師 安藤哲也氏（ファザーリング・ジャパン代表理事）
テーマ 「ワーク・ライフ・バランス推進による人材力の向上」
- ・成果発表 群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部学生
- ・情報発信 冊子等により取組事例やロールモデルを紹介



事業者訪問



成果発表

(5) 女性のキャリア形成支援事業

企業・団体等で活躍する女性リーダーの人材育成を図るとともに、女性リーダー同士のネットワーク化を図る取組を行いました。

女性リーダー養成研修

企業・団体などで活躍が期待されている女性に能力開発、意識改革の機会を提供することで、指導的地位を目指すための人材育成を行い、企業等における女性活躍推進の働きかけを行いました。

(全5回、参加者：各35人、会場：ぐんま男女共同参画センター)

女性リーダーネットワーク化事業

企業、団体等において管理的立場にいる女性のネットワーク化を図り、勉強会や情報交換、事例発表等により資質向上を図るなど、女性活躍促進について取組を行いました。

期日	内容(テーマ)	会場	参加人数
10月29日(水)	女性リーダーとしてのキャリアをどう作るか～女性リーダーへの期待～ 基調講演/意見交換会/交流会	ぐんま男女共同参画センター	30人
12月11日(木)	女性リーダーへのメッセージ～女性が活躍できる場を創る～ 基調講演/リレートークin交流会	アニバーサリーコートラシーネ	23人



女性リーダー養成研修



女性リーダーネットワーク化事業

(6) 女性に対する暴力根絶及び被害者支援のための取組

男女共同参画社会実現のための大きな障害である女性に対する暴力を根絶し、被害者を支援するため、平成26年度に実施した主な取組は次のとおりです。

啓発冊子等の作成・配布

県民の理解を促すため、一般県民向けのDV防止啓発冊子及びDV相談窓口一覧カード作成し、市町村、県有施設等に配布するとともに、若年者からのDV予防を図るために、若者向け啓発冊子を作成し、県内高校及び大学等に配布しました。

高校・大学等へのDV防止啓発講師派遣

若年期に正しい知識と理解を深めることがDV防止につながることから、高校・大学等にデートDV防止の啓発のための講師を派遣しました。

- ・派遣実績：10校

民間団体及び関係機関との連携

- ・民間シェルター支援

シェルターを運営する民間団体に、家賃等の補助を行いました。

交付実績（平成26年度） 3件 750千円

- ・民間団体支援

被害者の保護や自立支援を行う民間団体に対し、自立支援のための各種手続き等への同行支援に対し補助を行いました。

交付実績（平成26年度） 3団体 168千円

- ・関係機関との連携

裁判所、法務局、検察庁、県警、女性相談所、民間支援団体、母子生活支援施設、保健福祉事務所弁護士会等で組織する「女性に対する暴力被害者支援機関ネットワーク会議」を開催しました。

DV被害者支援 自立支援コーディネート事業

DV被害者が地域の中で自立するために必要な情報の収集や支援ボランティアの育成研修を実施するための研修を実施しDV被害者の自立を支援するためのコーディネート事業を実施しました。

（緊急雇用基金事業H25年度～H26年度）

女性に対する暴力をなくす運動

女性に対する暴力根絶のための啓発活動として、ポスター・リーフレットの掲示・配布や県HP等による広報活動を実施しました。

相談事業

女性相談センター、女性相談所において、暴力被害女性に対する相談を実施しました。

相談日時 平日 9時～20時 土日祝 13時～17時



デートDV講実座施

相談件数 4,287件(うちDV相談 1,841件)

被害者保護・自立支援

保護を必要とする被害女性については、女性相談所の一時保護所及び三山寮(婦人保護施設)において保護及び自立支援を行いました。

- ・一時保護所 要保護女子：実人員 42人、延べ人員 390人
同伴児童：実人員 46人 延べ人員 453人
- ・三山寮 要保護女子：実人員 19人、延べ人員 415人
同伴児童：実人員 25人 延べ人員 500人

女性に対する暴力をなくす運動について
毎年11月12日から25日(女性に対する暴力撤廃国際日)までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」の期間として、国や地方公共団体等が様々な運動を展開しています。
「女性に対する暴力撤廃国際日」(11月25日)は1999年12月、国連総会で指定されました。
1961年のこの日にドミニカ共和国の政治活動家であったミラバル三姉妹が惨殺されたことにちなんでいます。

(7) 男女共同参画の推進に関する意見の受付

「群馬県男女共同参画推進条例」第10条では、県民及び事業者が男女共同参画に関連する施策について、県へ意見を申し出ることができる旨定めています。

- ・平成26年度：1件

(8) 男女共同参画講演会(ぐんま男女共同参画センター)

とらいあんぐるん大学連携講座

男女共同参画の視点から社会を見つめ直す機会を持っていただくため、東京家政大学女性未来研究所と共催で、県民の方を対象とした全4回の連続講座を開催しました。(対象：男女共同参画に興味のある方、参加者：延べ213人、会場：ぐんま男女共同参画センター、県生涯学習センター(11/16のみ))

期日	内容(テーマ)	講師	参加人数
10月25日(土)	講義/女性の活躍と日本の未来	福士千恵子さん (読売新聞東京本社取締役メディア局長)	54人
11月16日(日)	講義/繭と生糸とかかあ天下~群馬の女性の昔と今	宮崎俊弥さん (共愛学園前橋国際大学地域共生研究センター顧問) 大森昭生さん (共愛学園前橋国際大学副学長・教授)	44人
11月22日(土)	講義/これからの育児と介護	樋口恵子さん (東京家政大学女性未来研究所長)	85人
12月6日(土)	講義/防災とジェンダー~男女共同参画の視点から防災を考える	齋藤正子さん (東京家政大学看護部看護学科講師)	30人



会場の様子



樋口恵子講師



HUG(避難所運営ゲーム)

地域連携男女共同参画講演会

より多くの方に男女共同参画の知識を身につけていただくため、ぐんま男女共同参画センターの所在地以外の地域と連携して講演会を行っています。平成26年度はかぶら文化講座（富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町）と共催で富岡・甘楽地域を中心とした県民を対象に開催しました。

期日	内容（テーマ）	講師	会場	参加人数
10月 8日(木)	講演会 / 「これからの子育て孫育て～つぶやきをリズムにのせて～」	広岡守穂さん (中央大学法学部教授)	富岡市生涯学習センター	204人



広岡守穂講師



会場の様子

とらいあんぐるん世界遺産登録記念講演会

世界遺産登録を記念して、「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関し、女性に焦点をあてた初めての講演会を群馬県女性団体連絡協議会と共催で開催しました。

期日	内容（テーマ）	講師	会場	参加人数
9月10日(水)	講演会 / 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」をめぐる女性たち～明治から平成へ	松浦利隆さん (県企画部世界遺産推進課長)	ぐんま男女共同参画センター	70人

群馬県新規採用職員研修

男女共同参画は、職員として習得すべき基礎的なテーマであることから、県自治研修センターが行う研修の一環として実施しました。（対象：県新規採用職員）

期日	内容（テーマ）	講師	会場	参加人数
5月13日(火)	講義 / 男女共同参画	大森昭生さん (共愛学園前橋国際大学副学長・教授)	群馬県自治研修センター	139人

(9) 活動支援事業（ぐんま男女共同参画センター）

協働事業

センター利用団体等、日頃から男女共同参画社会の形成に向けた活動を行っているグループ・団体と連携・協働し、以下の6事業を実施しました。

期日	内容【協働団体】	講師	会場	参加人数
6月 1日(日)	実習「子育てを一緒に楽しもう～紙粘土で手形づくり」 【玉村町・和い輪いネットワーク】	高橋さゆりさん (玉村町・和い輪いネットワーク代表)	ぐんま男女共同参画センター	19家族 53人
9月 4日(木)	パネルディスカッション・座談会 「ママのためのお仕事カフェ」 【ママインターンシップぐんま実行委員会】	パ・初社：櫻井明さん((有)ハートマーケット代表取締役)、結城奈津美さん(パリッシュ出版(株)ままえーる編集長)	ぐんま男女共同参画センター	69人

		近藤留梨子さん (主婦) コーディネーター：山田由紀子さん		
11月2日(日)	講演会「はい、私やります 自治会長」 - 群馬の女性自治会長(区長)をもっと増やそう！ 事例発表 【平成25年度実践講座の事業化候補プラン実行委員会】	佐藤良子さん (東京都立川市大山自治会長) 自治会長4名 (経験者を含む)	ぐんま男女共同 参画センター	98人
11月23日(日)	講演会「乳幼児の救急」 【玉村町・和い輪いネットワーク】	山田佳之さん (県立小児医療センター医師)	県庁	73人
1月25日(日)	講義「ひとり親家庭のためのライフマネープラン」 【群馬県母子寡婦福祉協議会】	阿部栄子さん (ファイナンシャル・プランナー (株)ユアステージ 代表取締役)	ぐんま男女共同 参画センター	19人
2月5日(木)	講演会「初代県令楢取素彦と妻・文」 【群馬県地域婦人団体連合会】	手島仁さん (前橋市歴史文化遺産活用室長)	ぐんま男女共同 参画センター	108人



手形づくり



ライフマネープランセミナー



講演会「初代県令楢取素彦と妻・文」

12市男女共同参画担当者情報交換会

県と12市における男女共同参画に関する情報の共有を主な目的として情報交換会を開催しました。
(対象：12市の男女共同参画担当者・県担当者、期日：7月2日(水)・2月19日(木)、会場：ぐんま男女共同参画センター)

(10) 女性のチャレンジ支援事業(ぐんま男女共同参画センター)

女子高校生理工系チャレンジ支援セミナー「リコ・チャレ・ぐんま2014」

女性の進出が少ない理工系分野の進路選択の魅力について、女子高校生やそのその保護者に伝える取り組みを県内の大学や企業の協力を得て実施しました。(26年度対象校：県立高崎女子高校)

期日	内容(テーマ)	講師	会場	参加人数
8月7日(木)	企業訪問と女性技術者との交流	協和発酵キリン(株) 高崎工場社員	協和発酵キリン(株) 高崎工場	生徒 30人
10月30日(木)	講演会/理工系女子の活躍最前線	板橋英之さん (群馬大学大学院 理工学府教授)	県立高崎女子高校	生徒 160人 保護者 45人
11月15日(土)	講義と実験/渡良瀬の銅を調べましょつ!			生徒 21人



企業訪問の様子



生徒・保護者向け講演会



板橋講師による講義と実験

キャリア形成支援事業「女性のためのハッピーキャリア大研究」

参加者がこれまでのキャリアを振り返り、個人のキャリアと社会のつながりから、新しい一歩を踏み出すためのきっかけづくりを支援する講座を開催しました。(参加者：延べ56人、会場：ぐんま男女共同参画センター)

期日	内 容	講 師	参加人数
9月13日(土)	講義とワークショップ/キャリアを考える	西山恵美子さん (国立女性教育会館客員研究員)	22人
9月13日(土)	ロールモデル・カフェ/夢を実現させた先輩のリアルを聞く	西山恵美子さん (国立女性教育会館客員研究員) ゲストスピーカー 洪澤知子さん (生活協同組合コープぐんま職員) 結城奈津美さん (パリッシュ出版(株)「ままえーる」 編集長) 高橋緑さん (NPO法人まちづくり楽しみ隊理事長)	21人
9月20日(土)	講義とワークショップ/ライフ・プランニング	引間紀江さん (国立女性教育会館事業課ネットワーク構築・事業推進係長)	13人



ワークショップ(西山恵美子講師)



ゲストスピーカー



ワークショップ(引間紀江講師)

女性の起業・創業支援事業「女性のための起業入門セミナー」

起業を目指す女性を対象に、起業についての基礎的な知識を提供し、女性目線での新規事業の開発や展開を支援する講座を開催しました。(参加者：33人(延べ91人)、会場：ぐんま男女共同参画センター、委託先：株式会社エイチ・エーエル) 内閣地域女性活躍加速化交付金事業

期日	内 容	講 師	参加人数
11月1日(土)	講義/夢をカタチにするとは? ～起業について聞こう、語ろう～ パネルディスカッション・交流会/ 起業体験談に学ぶ 経営者の心構え	長沼フミ子さん (コンサルタント・中小企業診断士) パネリスト(女性起業家) 岡田幸子さん (株式会社 幸 代表取締役) 富永敦子さん	22人

		(介護人材コンサルティングFutaba代表) 久保田織衣さん (ORIGIN 織臣 喫茶deもんじ代表)	
11月8日(土)	講義・グループディスカッション/ 私らしい起業とは?~「いいね!」 というポイントを探る~	安田裕美さん (コンサルタント・中小企業診断士)	25人
11月22日(土)	講義・グループディスカッション/ 売れる仕組みを考えよう~ビジネス プランを作る~		22人
11月29日(土)	講義・グループディスカッション/ お金の流れを知ろう!~ビジネス プランを作る~	長沼フミ子さん (コンサルタント・中小企業診断士)	22人
各日	個別相談会(希望者)	上記講師	5人



長沼フミ子講師



安田裕美講師



先輩女性起業家に学ぶ

女性の起業・創業支援事業「女性のための起業・創業フォローアップ研修」

起業後概ね5年以内の女性を対象に、安定的な事業を支援するため、女性視点を活かした事業展開も踏まえたフォローアップ研修を開催しました。(参加者:10人(延べ17人)、会場:ぐんま男女共同参画センター、委託先:株式会社エイチ・イーエル) 内閣地域女性活躍加速化交付金事業

期日	内容	講師	参加人数
1月15日(木)	講義/想いと夢を見直す パネルディスカッション・交流会/ 女性起業家の体験談	溝口暁美さん (コンサルタント・中小企業診断士) パネリスト(女性起業家) 桐山敬子さん (株式会社 はな工房 代表取締役)	8人
1月22日(木)	講義・グループディスカッション/ 集客力アップ、事業の発展に向けて	中村ひろみさん (有限会社サンファクトリー 代表取締役)	9人
各日	個別相談会(希望者)	上記講師	4人



パネルディスカッション



溝口暁美講師



先輩女性起業家との交流会

キャリアアップネットワーク支援事業「とらいあんぐるんサロン(プレ会)」

女性の起業・創業支援事業等の受講者同士のネットワークを構築し、当センターを活動拠点とした更なるキャリアアップのための自主的な活動を支援するため、研修会と交流会を開催しました。



瀬古裕美講師

期日	内容(テーマ)	講師	会場	参加人数
1月31日(土)	講義/本県における起業の現状と群馬県産業支援機構の支援について 交流会/情報交換	瀬古裕美さん (公益社団法人 群馬県産業 支援機構 参事兼 経営相談室長)	ぐんま男女共同 参画センター	18人

(11) 父親の子育て支援事業(ぐんま男女共同参画センター)

男性の「育児参画」と「仕事と子育ての両立」を促進するとともに、「イクメン」を切り口に男女共同参画を考えてもらうことを目的とした講座を県労働政策課と共催で開催しました。

父親の子育て支援講座「モテパパ大作戦! 父と子のバルーンアート教室」

(対象: 3歳位~未就学児のお子さんとその父親(又は男性保護者))



ぐんまちゃんダンス教室

期日	内容(テーマ)	講師	会場	参加人数
7月26日(土)	講演会/パパを楽しむためのコツ 実習/バルーンアート教室	吉田大樹さん (NPO法人ファザー リング・ジャパン)	ぐんま男女共同 参画センター	21組 44人

父親の子育て支援講座「モテパパ大作戦! 父と子のぐんまちゃんダンス教室」

(対象: 3歳位~小学校中学年のお子さんとその父親(又は男性保護者)、会場: ぐんま男女共同参画センター)

期日	内容(テーマ)	講師	会場	参加人数
9月6日(土)	講演会/家族の笑顔をつくる 実習/ぐんまちゃんダンス教室	松平博政さん (NPO法人キッズ バレイ代表理事) (株)ジェイ・エ ヌ・エス	ぐんま男女共同 参画センター	24組 72人

(12) 人材育成事業(ぐんま男女共同参画センター)

男女共同参画実践講座

男女共同参画の視点に立った活動を地域で実践する人材の育成を目的とし、男女共同参画推進のための事業プランづくりを通じて、地域における実践活動のポイントを学ぶ講座を開催しました。

(参加者: 延べ45人、会場: ぐんま男女共同参画センター)

期日	内容(テーマ)	講師	参加人数
11月29日(土)	講義/事業プランづくりのポイント	引間紀江さん (国立女性教育会館事業課ネットワーク 構築・事業推進係長)	10人
	講義/男女共同参画の視点で考える	大森昭生さん	

	3つのテーマの背景	(共愛学園前橋国際大学副学長・教授)	
	グループワーク / 課題の共有とプランテーマの決定	引間紀江さん (国立女性教育会館事業課ネットワーク構築・事業推進係長)	
12月13日(土)	グループワーク / 事業プランづくり	引間紀江さん (国立女性教育会館事業課ネットワーク構築・事業推進係長)	14人
1月17日(土)	グループワーク / 事業プランづくり・まとめ	センタースタッフ	10人
2月14日(土)	グループワーク / プレゼンテーション準備	大森昭生さん (共愛学園前橋国際大学副学長・教授)	11人
	プレゼンテーション・表彰・講評	大森昭生さん (共愛学園前橋国際大学副学長・教授) 引間紀江さん (国立女性教育会館事業課ネットワーク構築・事業推進係長) センタースタッフ	



講義の様子(大森昭生講師)



グループワーク



表彰の様子

地域における男女共同参画セミナー

県内の男女共同参画推進員や行政担当者、男女共同参画実践講座受講者等を対象に、男女共同参画についての理解を深め、意識の底上げを図ることを目的としたセミナーを開催しました。

(対象:市町村の男女共同参画推進員及び担当職員、男女共同参画実践講座受講者、男女共同参画に興味のある方 会場:ぐんま男女共同参画センター)

期日	内容(テーマ)	講師	参加人数
11月2日(日)	講演会 / 「はい、私やります 自治会長」-群馬の女性自治会長をもっと増やそう! 活動事例発表 / 地域の事例報告	佐藤良子さん (東京都立川市大山自治会・会長) 発表者:北澤裕志さん(前橋市富士見町中島自治会 前自治会長) 栗原フジ子さん (高崎市石原町東部第5区 前区长) 内山甚平さん (伊勢崎市新栄町 区长) 瀬古和子さん (太田市強戸石橋町区 前区长) コーディネーター:佐藤良子さん (東京都立川市大山自治会・会長)	98人



佐藤良子講師



事例発表



会場の様子

(13) 調査事業「男女共同参画データブック」(ぐんま男女共同参画センター)

男女間における意識の偏り、格差や差別の現状などの把握を目的として、平成23年度にセンター利用団体との協働事業により「男女共同参画データブック」を作成しました。このデータブックでは、群馬県の政策・方針決定過程への女性の参画や、就業分野における男女協働参画など、9つの分野における統計データを男女共同参画の視点から収集しています。

平成26年度は、県ホームページやセンター図書コーナーへ配架し周知を図るとともに、データの更新作業を実施しました。

(14) 情報収集と提供(ぐんま男女共同参画センター)

センター通信「とらいあんぐるん」の発行

センターで主催する事業や、男女共同参画を目指して活躍する人を紹介する広報紙を発行しました。

- ・発行：年5回、各3,500部
- ・規格：A4版4ページ、オールカラー
- ・配布先：市町村、地元自治会、センター登録団体、県女性団体連絡協議会加盟団体、県男女共同参画推進委員、センター運営委員、センター広報サポーター、各都道府県男女共同参画センター、県関係機関、県立病院 ほか



エフエム放送でのスポットCM放送

男女共同参画の啓発に関するスポットCM(6種類)を、エフエム群馬における聴取率3%以上の番組において放送しました。

- ・期間：平成26年6月1日～平成27年2月28日
- ・回数：各20秒×47本
- ・内容：
 - a) 会社編 … 社長と専務(ともに男性)が、女性の役員登用について話し合う
 - b) 父と娘編 … 父と娘が、娘の将来の職業選択について話し合う
 - c) 母と息子編 … 母と息子が、息子の将来の職業選択について話し合う
 - d) 妻と夫編 … 夫が妻の自治会長就任を応援する様子
 - e) 先輩・後輩編 … 先輩と後輩(ともに男性)が、家庭での家事分担について話し合う
 - f) 男の育休編 … 上司(男性)が、部下(男性)の育児休暇取得を応援する様子

資料の収集と提供

男女共同参画に係る資料(図書・行政資料・雑誌・映像資料等)を収集し、貸出しを行いました。(蔵書数：2,308点)

交流コーナー企画展示

「交流コーナー」において、男女共同参画に係る企画展示を実施しました。

(15) 相談事業（ぐんま男女共同参画センター）

女性のための男女共同参画相談事業（とらいあんぐるん相談室）として、女性が生活の中で抱える不安や悩み（家族間の役割や協力関係、女性の自立や能力発揮、性差に関する悩み等）について、専門の相談員が電話による相談を中心に対応しました。

- ・相談日・時間：火～金 9：00～12：00、13：00～16：00
土・日 9：00～12：00
- ・相談件数：657件

(16) 貸室事業（ぐんま男女共同参画センター）

男女共同参画社会の形成に向けた活動を行う団体等に活動の場を提供しました。

- ・利用状況（延べ） 863団体、22,825人

(17) 女性健康支援センター事業（保健予防課）

女性は、妊娠、出産等各ライフステージにおける特有の心身の悩みを抱えることが多いことから、身近な機関で気軽に相談できる体制を整え、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図れるよう、（公社）群馬県助産師会へ委託し、電話相談事業等を実施しました。また、相談員の対応能力の強化を図るための研修を実施しました。

- ・相談項目：人工妊娠中絶、思春期の性の悩み、婦人科疾患、更年期障害、妊娠・出産・子育て等
女性の心身の健康に関する相談等
- ・相談日・時間：月～金・土（第二・第四）13：00～16：00 年末年始、祝日を除く
- ・電話相談件数：547件 / 相談内容（延件数）：622件

(18) 放課後児童クラブの推進（子育て支援課）

放課後児童クラブ（学童保育）では、小学校に就学している児童で、その保護者が就労等により昼間家庭にいない場合、授業終了後等に小学校の余裕教室や児童館等の施設を利用して適切な遊びと生活の場を与え、その健全な育成を図っています。

県では事業実施主体である市町村に対して、運営費と施設整備費の補助を行っています。国の補助金基準額に合わせ、県も補助基準額を増額するとともに、県の単独補助として、小規模クラブ等に対する補助や国庫補助金の上乗せも行っています。

この結果、前年度比で11か所増え、26年度は33市町村で424か所となりました（中核市含む）。

(19) 女性農業者活動支援事業（技術支援課）

農業・農村が一層発展していくためには、男女がともに協力し、個々の能力を十分発揮できる男女共同参画社会の実現が求められています。

そこで、農業に携わる関係者がともに集い、能力と意識の向上を図るためにフェスティバルを開催し、農業の振興や魅力ある地域づくりの手助けとなるよう実施しました。

- ・名称：ぐんま農村男女（とも）に輝くフェスティバル
- ・期日：平成27年1月15日（木）
- ・主催：群馬県、ぐんま農村女性会議
- ・テーマ：「輝け！！ パワーあふれるメッセージ ～つなげよう 元気な農業 未来へ～」
- ・内容：【講演】「農村の元気と女性農業者の輝きのために」

NPO法人とうもんの会 理事長 名倉光子 氏

【群馬県内優良活動事例発表】

「えだまメンチで地域を笑顔に！～地域活性化プロジェクト～」

利根実業高等学校 食品文化部 3年生4名

「私のまえばし農業物語～ヤバタファームと共に～」

(有)ヤバタファーム 矢端晴美 氏

- ・参集者：ぐんま農村女性会議加盟団体会員、農業経営士、青年農業士、農業委員、農業者、市町村
・県関係者等（421名）

なお、本フェスティバルのほか各農業事務所に
おいて農業・農村における女性の経営参画、社会
参画の促進に向け、啓発研修、能力向上研修等を
実施しました。



講師：名倉光子氏（NPO法人とうもんの会理事長）

（20）輝く女性のキャリアアップシンポジウム（労働政策課）

少子高齢化が進み労働力人口が減少する中において、女性の活躍が経済の活性化につながることから、働く女性はその能力をさらに発揮し、キャリアアップを図ることを後押しするため、シンポジウムを開催しました。

第一線で活躍する管理職等の女性をロールモデルとして講師に迎え、これから働く女性に対してキャリア形成に関する助言を行うとともに、経営層に対して女性登用、活躍推進の働きかけを行いました。

- ・期日：平成26年10月30日（木）
- ・場所：ピエント高崎エクセルホール
- ・講演：「私のチャレンジストーリー」

（株）高島屋代表取締役専務 肥塚見春氏

- ・パネルディスカッション：「女性はもっと活躍できる ～県内の働く女性を交えて～」
県内で活躍する女性経営者等
- ・参加者：働く女性、学生、企業経営者等（306名）



パネルディスカッションの様子

(21) 群馬県育児いきいき参加企業認定事業（労働政策課）

育児休業制度の充実・利用促進に先導的に取り組みを進めようとしている企業を応援し、働きやすい職場環境づくりを推進するとともに企業の活性化を図り、県経済に活力を与えることを目的としています。

(1) 実施内容

育児休業制度の充実・利用促進に先導的に取り組む企業を応援

- ・育児休業に関する就業規則、社内規則を定め、両立支援の取組の実施を宣言した中小企業（従業員300人以下）について、一定の要件を満たしている企業を認定し、認定証を交付。

認定企業への県独自の支援の実施

- ・ホームページ等への公表による企業のイメージアップ、表彰の実施
- ・両立支援の推進や意識啓発に関する情報提供の実施
- ・入札参加資格審査で加点の優遇措置

(2) 認定企業数

- ・平成27年3月31日現在の認定企業数：1,208事業所



表彰企業（群馬県知事賞・奨励賞）

平成27年2月10日、平成26年度「群馬県育児いきいき参加企業」優良企業等表彰式・事例発表会が開催され、2事業所に知事賞、4事業所に奨励賞が授与されました。

(22) ぐんまのイクメン・イクボス養成塾（労働政策課）

従業員の育児休業制度利用促進のためには、上司、同僚の理解が必要であり、また、男性従業員が上司や同僚に気兼ねして、育児休業の取得をためらうことが多いことから、男性従業員の育児参加に対する、企業トップや上司の意識改革を図るとともに、従業員の育児休業に対する理解を深めることを目的として実施しています。

特に、男性従業員の育児参加に理解のある企業トップを増やすための「イクボスの養成塾」は、群馬から全国へ発信する新たな取組として実施しています。

開催実績

・イクメン養成塾

県域版：3回、201名参加

地域版：2回、111名参加（市町村と連携）

・イクボス養成塾

県域版：3回、379名参加（労働局、商工会議所等と共催）

地域版：5回、344名参加（商工会議所等と連携）

(23) ジョブカフェ・マザーズ(女性の再就職相談窓口)(労働政策課)

ジョブカフェ・マザーズは、子育て世代を中心とする女性の再就職を総合的に応援するため、平成24年4月に県若者就職支援センター(ジョブカフェぐんま)高崎センター内に開設しました。

ジョブカフェ・マザーズでは、職業紹介に加え、保育情報や生活支援情報の提供、カウンセリング、再就職支援セミナー、利用者のニーズに即した求人開拓等、利用者の希望が実現できるようきめ細かな支援を実施しています。

また、子ども連れでも安心して相談していただくため、ジョブカフェ・マザーズ内にキッズコーナーを設置しています。

ジョブカフェ・マザーズ

・開館時間 月～土曜日 10時～19時
(祝日・年末年始除く)

・電話番号 027-330-4510

・利用状況(平成26年度)

利用者(カウンセリング実施者) 790名

就職決定者 62名



ジョブカフェ・マザーズ相談状況

(24) ぐんま県民カレッジ(生涯学習課)

(1) 概要

県、市町村、大学、高校、専修学校、博物館、放送大学等の様々な機関が連携し、県民の誰もが自由に選択して学べるよう、多様な学習機会を提供しています。

・総講座数 721講座(平成26年度)

・連携機関 541機関(平成26年度末現在)

・入学者数 7,186人(平成26年度末累計)

(2) 県主催事業

地域の学校開放講座

県立高等学校及び特別支援学校において、地域住民を対象とした公開講座を実施しました。

・16校 384人受講(平成26年度)

「オープンキャンパス」大学等出前講座

教育事務所管内ごとに、大学等高等教育機関による出前講座を実施しました。

・5講座 528人受講(平成26年度)



講座の様子

2 群馬県男女共同参画基本計画(第3次)の数値目標達成状況

群馬県男女共同参画基本計画(第3次)では、「男女が性別にかかわらず、一人ひとりの考え方や生き方が尊重される社会、あらゆる分野への参画の機会が保障され、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現」を基本理念に掲げ、今後取り組むべき重要課題を踏まえ、基本理念を達成するための基本的な施策目標を11項目設定するとともに、計画の推進状況を把握するための数値目標を設定しました。また、平成24年度には中間評価を実施し、各指標の目標値等について見直しを行いました。

平成26年度までの達成状況及び目標値は、下表のとおりです。

基本目標1 制度・慣行の見直しと意識の改革

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
「男女共同参画社会」の認知度	45.9%	H21	41.3%	H26	-	100%	H27
男女の地位の平等感(社会全体)	18.6%	H21	14.1%	H26	-	増加	H27

基本目標2 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値		
	数値	年度	数値	年度		数値	年度	
県の審議会等への女性の参画率	29.6%	H21	36.5%	H26	127.8%	35.0%	H27	
県職員の管理職に占める女性の割合	6.1%	H22	7.5%	H27	-	推進	H27	
公立学校の教頭以上に占める女性の割合	小学校	20.0%	H22	20.3%	H27	-	推進	H27
	中学校	3.9%	H22	5.6%	H27	-	推進	H27
	高校(県立特別支援校を含む)	3.5%	H22	6.7%	H27	-	推進	H27
女性農業委員数の割合(基本目標7再掲)	7.2%	H21	10.0%	H26	100.0%	10.0%	H27	

基本目標3 女性に対するあらゆる暴力の根絶

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
配偶者暴力相談支援センター数	2か所	H22	2か所	H26	0.0%	4か所	H27
総合労働相談相談件数	1,619件	H21	1,589件	H26	-7.9%	2,000件	H27
県内企業のセクシュアル・ハラスメント防止措置状況(検討・計画中を含む)	39.0%	H18	50.8%	H22	107.3%	50.0%	H27

基本目標4 子育て環境の整備

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
私立幼稚園における預かり保育実施園数	123園	H20	120園	H26	-	推進	H27
私立幼稚園子育て支援推進事業実施園数	98園	H19	104園	H25	-	推進	H26
ぐーちょきパスポート協賛店舗登録数	3,208店	H21	5,044店	H26	102.5%	5,000店	H26
放課後児童クラブ(学童保育)数	357か所	H21	424か所	H26	134.0%	407か所	H26
延長保育実施か所数	279か所	H21	285か所	H26	24.0%	304か所	H26
特定保育実施か所数	3か所	H21	4か所	H26	100.0%	4か所	H26
休日・夜間保育実施か所数	18か所	H21	22か所	H26	17.4%	41か所	H26
病児・病後児保育実施か所数	31か所	H21	52か所	H26	105.0%	51か所	H26
母子家庭等就業・自立支援センター事業就職相談件数	182件	H21	119件	H26	-350.0%	200件	H27
職場創造支援資金貸付件数	1件	H21	0件	H26	-100.0%	2件	H27
女性労働支援セミナー参加者数(H23年度で事業終了)	64名	H21				100名	H27
(新)くまのイクボス養成塾(県域講演会)参加者数	143名	H24	149名	H26	85.7%	150名	H27

基本目標5 男女の仕事と生活の調和

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値		
	数値	年度	数値	年度		数値	年度	
週5日以上家族や友人と楽しく食卓を囲む県民の割合	61.6%	H21	75.0%	H26	72.8%	80%以上	H27	
県職員の男性の育児休業等の取得率*1	2.91%	H21	3.13%	H26	3.1%	10.0%	H26	
事業所の育児休業規定整備状況	84.4%	H22	84.4%	H22	-	90.0%	H27	
事業所の育児休業取得率	女性	97.8%	H22	96.2%	H25	-	更に向上	H27
	男性	1.1%	H22	3.8%	H25	30.3%	10.0%	H27
夫婦が同じくらい育児を分担する家庭の割合	16.5%	H21	23.5%	H26	3.4%	65.6%	H27	
「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	17.8%	H21	19.8%	H26	6.2%	50%以上	H27	

*1 県職員の男性育児休業等取得率基準値0.97%(H21年) 2.91%に訂正 育児休業等の目標値3.0%には「育児休業」「部分休業」「育児短時間勤務」が含まれるが、基準値は「育児休業」のみの数値であるため「部分休業」「育児短時間勤務」を含めた数値に訂正するもの

基本目標6 雇用の分野における男女共同参画の推進

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
女性労働支援セミナー参加者数 (H23年度で事業終了)						100名	H27
(新) ぐんまのイクボス養成塾(県域講演会)参加者数	143名	H24	149名	H26	85.7%	150名	H27
男女共同参画推進員の設置	143事業所	H21	420事業所	H26	77.6%	500事業所	H27
職場で男女間の差別がないと感じる人の割合	29.8%	H21	25.9%	H26	-	増加	H27

基本目標7 農山村における男女共同参画の推進

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
農村生活アドバイザー数	139人	H21	148人	H26	900.0%	140人	H27
女性農業委員数の割合(基本目標2再掲)	7.2%	H21	10.0%	H26	100.0%	10.0%	H27
女性農業者の農業関連審議会等の委員割合	23.2%	H21	23.0%	H26	-2.9%	30.0%	H27
家族経営協定締結農家数	1,664戸	H21	1,995戸	H26	79.6%	2,080戸	H27
認定農業者数(女性単独+共同)	101件	H21	140件	H26	114.7%	135件	H27

基本目標8 高齢者、障害者*1、外国人など様々な人々が安心して暮らせる環境の整備

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
グループホーム・ケアホーム定員数	954名	H22	1,700名	H26	126.4%	1,544名	H26
思いやり駐車場協定施設数	602施設	H22	799施設	H26	49.5%	1,000施設	H27
人にやさしい福祉のまちづくり条例に基づく適合証交付数	52施設	H22	90施設	H26	65.5%	110施設	H27

基本目標9 生涯にわたる健康づくりの推進

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値		
	数値	年度	数値	年度		数値	年度	
NICU病床数 *1	30床	H22	42床	H26	60%/100%	50床/42床	-	
保健福祉事務所におけるHIV抗体検査件数	1,396件	H21	1,524件	H26	31.7%	1,800件	H27	
乳がん検診受診率	43.1%	H22	42.8%	H25	-4.3%	50.0%	H29	
子宮がん検診受診率	41.6%	H22	41.5%	H25	-1.2%	50.0%	H29	
不妊専門相談センター相談件数	31件	H21	38件	H26	36.8%	50件	H27	
特定不妊治療費助成事業 *2	1,515件	H21	1,555件	H26	-	1,200件	H27	
性・命・エイズ講演会開催率	小学校	53.2%	H21	73.8%	H26	122.6%	70.0%	H27
	中学校	42.7%	H21	68.1%	H26	93.0%	70.0%	H27
	高等学校(県立)*3	98.4%	H21			-	100.0%	H27
	高等学校*4	95.7%	H21	98.6%	H26	67.4%	100.0%	H27

*1 50床は長期的目標、42床は短期的目標である。 *2 27年度の数値は高崎市を含まないため、達成度は不明。

*3 高等学校(県立):については100%を達成したため、市立高校も含めた指標に変更 *4 高等学校:県立高校及び市立高校

基本目標10 教育・学習の充実

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値	
	数値	年度	数値	年度		数値	年度
ぐんま男女共同参画センター主催講座満足度(80点以上の評価の割合)	76%	H21	77%	H26	25.0%	80%以上	H27
人権感覚育成実技研修の受講者数*1	200人	H21	154人	H25	-	推進	H27

*1 H16年度より実施している「人権感覚育成実技研修会」は、第1期県教育振興基本計画の達成目標2,000人を達成したため、H25年度をもって事業終了のため、達成度は不明。

基本目標11 協働・参画型社会の基盤づくりと国際社会への貢献

指標項目	基準値		最新値		達成度	目標値		
	数値	年度	数値	年度		数値	年度	
NPO・ボランティアサロンぐんま利用者数 *1	11,043人	H22	9,317人	H26	-	11,700人	H27	
NPOとの協働の取組事業数	92事業	H22	98事業	H26	21.4%	120事業	H25	
ぐんま男女共同参画センター有料施設の登録団体利用数	69回	H21			-	80回以上	H27	
(新) ぐんま男女共同参画センター登録団体施設利用数	117回	H21	205回	H26	129.4%	185回以上	H27	
福祉ボランティア数	個人	3,831人	H22	7,701人	H23	2289.9%	4,000人	H27
	団体	3,686団体	H22	4,814団体	H23	8057.1%	3,700団体	H27
環境アドバイザー登録者の女性割合	29.0%	H22	28.1%	H26	-	増加	H27	

*1 基準数値は77時間/週 開館の実績 H25年度実績は60時間/週 と開館時間を縮小したため、達成度は不明

3 平成26年度男女共同参画施策事業一覧

「*」は、予算額、決算額で男女共同参画に関する金額を分離することが困難である場合

「」は、くま男女共同参画センター実施事業 予算額は11-(1)センター運営に含む

1 制度・慣行の見直しと意識の改革

(1) 社会における制度・慣行の見直し

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	群馬県男女共同参画推 進委員会(推進体制 1- (3)再掲)	632	377	継続	男女共同参画推進条例の規定に基づき「群馬県男女共同参画推進委員会」を設置し、男女共同参画の推進に関する重要事項を審議した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画に関する 意見の申出の受付(推進 体制 1-(4)再掲)	0	0	継続	男女共同参画推進条例の規定に基づき県民及び事業者からの男女共同参画に関する施策についての意見に回答した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画推進責任 者(推進体制 1-(2)再掲)	0	0	継続	県が実施する施策を男女共同参画の観点から点検するとともに、職場の男女共同参画を促進するため、各所属に男女共同参画推進責任者を設置した。
教育委員会	高校教育課	高校教育改革推進	47	11	継続	「高校教育改革推進計画」に基づく高校教育改革の推進に関わり、懇談会や意見交換会等を開催した。

(2) 広報の推進、情報の収集・整備・提供

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画に関する 年次報告(推進体制 5再 掲)	81	81	継続	男女共同参画推進条例の規程に基づき、男女共同参画の推進の状況及び男女共同参画の推進に関する県の施策の実施状況について報告書を作成し公表した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	人権教育・啓発の推進	200	164	継続	民間団体が自主的に行う人権啓発につながる事業の経費の一部を補助した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画情報ホー ムページ作成	0	0	継続	男女共同参画社会の形成に関する意識啓発や情報提供を適時行うため、「男女共同参画」に関するホームページを運営した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画週間記念 事業	60	30	継続	男女共同参画社会に対する理解を深めるため、男女共同参画週間にちなみ女性団体連絡協議会と共催し、男女共同参画フェスティバルを開催するとともに、男女共同参画に関する展示等を実施した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	くま男女共同参画セン ター・センター通信の発 行			継続	地域で活動する男女共同参画グループをはじめ、広く県民に対し、男女共同参画に関する情報やセンターの事業等について情報発信するため、「くま男女共同参画センター通信」を発行するとともに、ホームページに掲載した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	くま男女共同参画セン ター・図書貸出し、資料 収集			継続	図書の購入・貸出しや、他県等の男女共同参画に関する資料の収集・管理を行った。
産業経済部	労働政策課	職場の活躍女性応援プ ロジェクト	300	158	新規	県内の第一線で活躍する管理職等の女性をロールモデルとして、シンポジウムを開催し、社会人や学生のキャリア形成や経営層への働きかけを実施した。また、介護分野において女性が子育て中も継続就業することができるようにワークショップ形式で課題・問題点を抽出し、その結果を事業主団体等へ報告した。

2 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

(1) 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
総務部	総務課	附属機関の設置及び運 営指針の運用	0	0	継続	審議会等への女性委員の登用を推進。(35%を目指す)
総務部	人事課	女性管理職の登用促進	0	0	継続	性別にかかわらず、人物本位の人事管理を行うとともに、将来の女性幹部登用にに向けて計画的な人材育成を進めた。
総務部	人事課	女性職員の能力発揮促 進のための指針の運用	0	0	継続	「群馬県における人材育成の考え方」に基づき、女性職員が多様な経験を積み、幅広く活躍できるための人事配置をするなど、能力発揮促進のための取り組みを推進した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	県各種審議会等への女 性委員参画状況調査	0	0	継続	各種審議会への女性委員の参画状況を把握するため、県が設置しているすべての審議会等を対象に調査を実施した。調査時点 3月1日
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	事業所における男女共 同参画推進員の設置(3- (4)、5-(1)(3)、6-(1)、推 進体制3再掲)	524	211	継続	男女共同参画推進条例の規定に基づき、事業所に対して職場の男女共同参画を中心となつて進める推進員の設置を依頼し、情報提供、研修、講演会等により推進員の取組を支援した。また、群馬県立女子大との協働により、推進員設置事業所へ訪問調査を実施し、優良取組事例の紹介やロールモデルの紹介等を行った。
農政部	技術支援課	農業農村リーダー等活動 促進(7-(2)、11-(3)再掲)	700	713	継続	女性農業者の主体的な社会参画を促進するため、活動に意欲的な女性農業者を農村生活アドバイザーとして認定した。また、認定者を対象に研修会等を開催し、その資質向上を図った。
農政部	技術支援課	女性農業者活動支援(7- (1)(2)、11-(3)再掲)	1,185	862	継続	農業・農村における男女共同参画の推進を図るため、具体的な推進目標の達成に向け、普及啓発するとともに、女性農業者が個々の能力を十分に活かせる環境づくりや主体的に経営及び社会参画活動にチャレンジできるよう支援を行った。また、農業経営のみならず、農業・農村地域の各種方針決定の場に参画する人材を育成した。
警察本部	警務部警務課	群馬県警察女性警察官 採用・登用拡大計画の推 進	0	0	継続	平成33年4月1日までに、女性警察官の占める割合が全警察官の10%になることを目標とし、女性警察官の採用、登用の拡大、女性警察官が働きやすい職場環境の整備等を推進した。

(2) 女性の人材育成と情報の提供

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	女性人材データバンクの 設置	0	0	継続	県内の女性有識者の情報を収集した「群馬県女性人材データバンク」を設置・管理し、各種審議会等への女性の参画を促進した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	女性のキャリア形成支援 事業	1,020	1,180	新規	企業・団体等でリーダーとして活躍が期待される女性に対する研修を実施するとともに、女性同士のネットワーク化を図った。

3 女性に対するあらゆる暴力の根絶

(1) 女性に対する暴力の予防と根絶のための環境づくり

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	県民防犯推進 室	女性向け防犯意識向上 対策(3-3)再掲	529	415	継続	女性が被害者となるわいせつ事案等の悪質な犯罪が増加する中、女性(主に女子中高生・大学生)の防犯意識の向上を図るため、啓発冊子を作成するとともに、女性向け防犯 出前講座を実施した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	ぐんまDV対策基本計画 (第3次)の推進	0	0	継続	ぐんまDV対策推進計画(第3次)(H26-H30)の重点施策の目標達成のため積極的な推 進を図った。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	DV防止啓発広報・啓発 活動	1,133	691	継続	DV啓発リーフレット、啓発カード、若年者向け啓発リーフレットを作成・配布した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	高校・大学等へのDV防 止啓発講師派遣事業	390	283	継続	若年者がDVに対する正しい知識と理解を深めるため、高校・大学等へ講師を派遣し、デー トDV防止講座を開催する。また、指導者層への働きかけを積極的に行い、指導者層向け 講座受講を推進した。
警察本部	生活安全部子 ども・女性安全 対策課	子どもや女性を性犯罪等 の被害から守るための対 策(3-3)再掲	0	0	継続	声掛け、つきまとい、公然わいせつ等性犯罪等の前兆とみられる事案等発生時に、情報 の収集・分析、犯行が予測される現場周辺での警戒活動、検挙、指導、警告等により、重 大事件を未然に防止する先制・予防的活動を推進した。

(2) 配偶者からの暴力被害者支援の充実

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	女性相談所・女性相談セ ンターの運営	55,278	53,625	継続	女性相談所において、女性の様々な悩みの相談を受けるとともに要保護女子の転落防止 と自立更生のための支援を行った。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	一時保護施設の運営	5,944	3,089	継続	要保護女子のうち、短期間の更生指導を必要とする者、関係機関へ移送されるまでの間 の待機者などを一時保護し、生活指導を行った。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	三山寮の運営	5,600	2,307	継続	問題解決に長期間を要する要保護女子を一時保護所から受け入れ、生活指導、職業指導 などを行い自立更生を図った。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	市町村配偶者暴力相談 支援センター設置促進	22	4	継続	身近な相談窓口としての市町村支援センター設置に向け、相談員向けSV、事例検討、出 張相談を行うほか、担当者・相談員向けに支援センター設置検討会を開催した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	女性に対する暴力被害 者支援機関ネットワーク	0	0	継続	暴力被害者支援関係機関の相互協力と連携を推進した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	女性に対する暴力被害 者支援事業	1,500	750	継続	DV被害者の緊急避難所(シェルター)を運営する民間団体に運営費の助成を行った。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	DV被害者等同行支援事 業	400	168	継続	女性に対する暴力に係る被害者への保護及び自立支援活動を行う民間団体に同行支援 に要する経費の補助を行った。
県土整備部	建築住宅課	県営住宅優先入居(3- 3)、4-(4)再掲	0	0	継続	入居の際の抽選時に一般の応募者より当選確率を高めた。
警察本部	生活安全部子 ども・女性安全 対策課	配偶者からの暴力事案 に対する指導・取締り及 び被害者の保護対策	0	0	継続	被害者の意向を踏まえつつ、各種法令を積極的に適用して加害者の検挙に努めるほか、 配偶者暴力防止法に基づく保護命令への対応や援助措置により被害者の安全と平穏な 生活を確保した。

(3) 性犯罪・ストーカー行為・人身取引等への対策の推進

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	県民防犯推進 室	女性向け防犯意識向上 対策(3-1)再掲	529	415	継続	女性が被害者となるわいせつ事案等の悪質な犯罪が増加する中、女性(主に女子中高 生・大学生)の防犯意識の向上を図るため、啓発冊子を作成するとともに、女性向け防犯 出前講座を実施した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	犯罪被害者等支援	6,176	5,527	継続	犯罪被害者支援に係る相談支援員の設置、スーパーバイザー(臨床心理士等)招聘、県 民理解のための啓発活動を実施した。
県土整備部	建築住宅課	県営住宅優先入居(3- 2)、4-(4)再掲	0	0	継続	入居の際の抽選時に一般の応募者より当選確率を高めた。
警察本部	警務部広報広 聴課	犯罪被害者支援のため の広報推進	984	845	継続	性犯罪被害者等に対し、ポスター、リーフレット等により各種支援制度や相談窓口を紹 介するほか、講演会等を実施して、被害者支援の重要性と必要性を訴え、「社会全体で被害 者を支え、被害者も加害者も出さない安全で安心なまちづくり」の気運の醸成を図った。
警察本部	生活安全部子 ども・女性安全 対策課	ストーカー行為に対する 指導・取締り及び被害者 の保護対策	264	233	継続	被害者の意向を踏まえつつ、ストーカー規制法を始め、各種法令を積極的に適用して行為 者の検挙に努めるとともに、警告・援助等の行政措置により危害の発生や拡大を防ぎ、被 害者の安全と平穏な生活を確保した。
警察本部	生活安全部子 ども・女性安全 対策課	子どもや女性を性犯罪等 の被害から守るための対 策(3-1)再掲	0	0	継続	性犯罪発生状況及び性犯罪等の前兆となる声掛け事案等発生時の情報収集、分析やこ れまでの教訓となる対応に基づき、被害防止に関する知識及び技能を体得させるため、子 どもや女性を対象とした防犯講話や護身術教室等を積極的に開催した。
警察本部	生活安全部生 活環境課	人身取引事犯対策	0	0	継続	入国管理局等の関係機関と連携し、悪質な経営者、仲介業者等の取締りを強化し、被害 者の早期保護及び事案の解明等人身取引事犯対策を推進した。

(4) セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	事業所における男女共 同参画推進員の設置(2- (1)、5-(1)(3)、6-(1)、推進 体制3再掲)	524	211	継続	男女共同参画推進条例の規定に基づき、事業所に対して職場の男女共同参画を中心とな って進める推進員の設置を依頼し、情報提供、研修、講演会等により推進員の取組を支 援した。また、群馬県立女子大との協働により、推進員設置事業所へ訪問調査を実施し、 優良取組事例の紹介やロールモデルの紹介等を行った。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	とらいあんぐるん相談室 (5-(1)再掲)			継続	女性が生活の中で抱える不安や悩みについて、専門の相談員が電話による相談を実施し た。
産業経済部	労働政策課	総合労働相談	12,614	11,794	継続	県民労働相談センターを県内4ヶ所(県庁労働政策課及び前橋、高崎、太田の各行政 税事務所)に設置し、労使紛争、労務管理、その他労働問題全般についての労働相談に 応じる。なお、労働政策課ではフリーダイヤルを利用した電話相談(通話料県負担)を実施 した。

4 子育て環境の整備

(1) 多様なライフスタイルに対応した子育て支援策の充実

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
総務部	学事法制課	私立幼稚園預かり保育 推進事業費補助	111,740	103,273	継続	幼稚園の教育時間終了後及び長期休業期間に、園児を園内で過ごさせる預かり保育を 実施する幼稚園に対して補助した。(補助対象:私立幼稚園設置者)
総務部	学事法制課	私立幼稚園子育て支援 推進事業費補助	65,400	53,758	継続	子育て支援を実施する私立幼稚園に対して事業に係る経費を補助した。(補助対象:学校 法人)
生活文化 スポーツ部	少子化対策・青 少年課	ぐんまちょい得キッズバ スポート(ぐんまちょいキ ッズバスポート)	2,135	2,035	継続	協賛登録の少ない業界及び地域の店舗等に対し、集中的に協賛依頼を送付するととも に、スマホ版協賛店検索サイトを開始し、協賛店の拡大とバスポート利用の促進を図り、 社会全体で子育て家庭を応援する機運を醸成した。
健康福祉部	子育て支援課	放課後児童クラブの推進	963,131	970,592	継続	保護者が、労働等により昼間家庭にいない小学校児童の放課後対策を推進した。
健康福祉部	子育て支援課	保育対策等促進事業	717,993	723,135	継続	多様な保育ニーズに対応するため、特定保育事業、休日保育事業、病児病後児保育事 業、延長保育事業等に要する経費を補助した。
産業経済部	商政課	中小企業パワーアップ資 金(職場創造支援資金)	*	*	新規	高齢者、障害者及び女性が働きやすい職場環境を整備しようとする中小企業に資金を以 下の要件により融資した。 ・融資限度額 50,000千円 ・融資利率 1.9%以内(信用保証付1.5%~1.6%以内) ・融資期間 12年以内(据置期間2年以内)
県土整備部	建築住宅課	県営住宅子育て支援住 宅	0	0	継続	子育て中の世帯(13歳未満の児童と同居)に対し、小中学校に近接する県営住宅を選定 の上、期限付で公募した。
教育委員会	義務教育課	ぐんま幼児教育プラン普 及啓発	101	36	継続	「ぐんま幼児教育プラン」推進のためのシンポジウムと指導資料の説明会を開催した。

(2) 児童虐待防止施策の充実

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
健康福祉部	子育て支援課	児童相談活動	39,384	40,176	継続	児童相談所で子どもに関するあらゆる相談に応じるとともに、必要な支援を行い、児童 虐待の防止等、児童福祉の向上を推進した。
健康福祉部	子育て支援課	児童虐待防止対策の推 進	59,969	52,587	継続	児童虐待の予防、早期発見・早期対応、保護・支援から再発防止、自立支援に至るまで、 一貫した虐待防止対策を推進した。
教育委員会	義務教育課	児童虐待防止に関する 教職員研修の推進	0	0	継続	小中学校人権教育推進協議会の中で児童虐待防止に関する研修を実施した。 人権教育推進会議の予算で対応
警察本部	生活安全部 少年課	児童虐待防止対策の推 進	0	0	継続	児童相談所等関係機関との情報交換や連携した対応の充実強化に努め、児童の安全確 認及び安全確保を最優先とした対応を推進した。

(3) 子どもの健康及び安全の確保

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	県民防犯推進 室	子ども向け防犯出前講 座	3,492	3,458	継続	子ども自身の危険回避能力を高めるため、紙芝居、ロールプレイ、簡単な護身術等を活用 した防犯出前講座を実施するとともに、地域安全マップづくり活動への指導員派遣等の支 援を行った。
生活文化 スポーツ部	少子化対策・青 少年課	青少年健全育成条例施 行運営	111	81	継続	青少年健全育成条例の周知啓発を行い、青少年の健全な育成を阻害するおそれのある 行為の防止及び青少年の健全育成を推進した。
生活文化 スポーツ部	少子化対策・青 少年課	青少年健全育成審議会 運営	266	192	継続	複雑化する青少年問題に対応するため、青少年健全育成審議会を開催し、青少年の健全 育成に関する重要事項及び青少年に有害な映画、図書類、玩具類等の調査・審議を行っ た。
生活文化 スポーツ部	少子化対策・青 少年課	新しい有害環境から子 どもを守る取組推進	1,511	1,503	継続	スマートフォンなどからのインターネット利用による青少年の有害情報問題について、知 識・技能を持ったインストラクターで構成される団体の活動を支援し、保護者や地域の大人 への啓発を図った。
健康福祉部	国保課	福祉医療費(子ども)補 助制度	4,011,600	3,811,300	継続	子どもの健全育成と子育て世代の経済的な負担の軽減を図るため、中学生以下の子ども を対象に、市町村が保険医療費の患者負担分を助成する事業に対して補助した。
警察本部	生活安全部子 ども・女性安全 対策課	子どもを犯罪等の被害か ら守るための対策	0	0	継続	声掛け、つきまとい、乗車誘引等子どもが被害者となる犯罪の前兆とみられる事案等発生 時に、情報の収集・分析、犯行が予測される現場周辺での警戒活動、検挙、指導、警告等 により、重大事件を未然に防止する先制・予防的活動を推進した。
警察本部	生活安全部 少年課	少年の福祉を害する犯 罪の取締り及び被害防 止対策の推進	70	0	継続	児童ポルノを始めとする福祉犯罪の取締りを推進するとともに、少年が使用する携帯電話 のフィルタリング100%普及を目指した広報啓発活動を推進した。

(4) ひとり親家庭の支援

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
健康福祉部	子育て支援課	児童扶養手当	1,006,374	916,930	継続	父又は母と生計を同じくしていない児童を監護又は養育している家庭等の生活の安定と自立を助け、児童福祉の増進を図った。
健康福祉部	子育て支援課	母子・父子自立支援	18,362	17,637	継続	母子家庭の母等に対し、母子・父子自立支援員を中心とした総合的な自立支援策を講じ、母子父子専福の増進を図った。
健康福祉部	子育て支援課	母子家庭等就業・自立支援センター事業	3,057	3,006	継続	就労による自立を目指す母子家庭の母等に対する相談員による就業相談、養育費相談、就業支援講習会の開催等により自立を支援した。
健康福祉部	子育て支援課	母子家庭自立支援給付	52,955	39,713	継続	母子家庭の母が就業に有利な知識・技能の習得及び資格取得を目指す場合に、教育訓練費等を支給した。
健康福祉部	国保課	福祉医療費(母子家庭等)補助制度	706,787	653,163	継続	母(父)子家庭の母(父)と子ども、父母のいない子どもの健康管理の促進と、経済的負担の軽減などを目的として、市町村が保険医療費の患者負担分を助成する事業に対して補助した。
県土整備部	建築住宅課	県営住宅優先入居(3-2)、3-(3)再掲	0	0	継続	入居の際の抽選時に一般の応募者より当選確率を高めた。
県土整備部	建築住宅課	県営住宅家賃減免	0	0	継続	世帯の収入が基準額以下の場合は家賃を減免した。

5 男女の仕事と生活の調和

(1) 仕事と生活の調和の実現

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
総務部	人事課	特定事業主行動計画(後期計画)	0	0	継続	次世代育成支援対策推進法の有効期限延長を受け、職員が仕事と子育ての両立を図ることができるよう、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの計画期間とする特定事業主行動計画を策定した。
生活文化スポーツ部	人権男女共同参画課	事業所における男女共同参画推進員の設置(2-(1)、3-(4)、5-(3)、6-(1)、推進体制3再掲)	524	211	継続	男女共同参画推進条例の規定に基づき、事業所に対して職場の男女共同参画を中心となって進める推進員の設置を依頼し、情報提供、研修、講演会等により推進員の取組を支援した。また、群馬県立女子大との協働により、推進員設置事業所へ訪問調査を実施し、優良取組事例の紹介やロールモデルの紹介等を行った。
生活文化スポーツ部	人権男女共同参画課	女性のためのハッピーキャリアセミナー			継続	男女共同参画の視点に立った多様なキャリア形成を支援する研修を開催した。
生活文化スポーツ部	人権男女共同参画課	とらいあんぐる相談室(3-(4)再掲)			継続	女性が生活の中で抱える不安や悩みについて、専門の相談員が電話による相談を実施した。
健康福祉部	医務課	病院内保育所運営費補助事業	104,534	101,861	継続	医療従事者のために保育施設を運営する病院設置者に対して補助金を交付した。
健康福祉部	医務課	ナースセンター事業	12,857	12,857	継続	看護師等についての無料職業紹介、看護師等に対する看護についての知識及び技能に関する研修等を行った。
健康福祉部	医務課	女性医師再就業支援事業	135	0	休廃止	女性医師のライフステージに応じた就労を支援するため、離職防止や復職支援に必要な職場環境整備について検討した。
健康福祉部	医務課	女性医師の子育て支援事業補助	7,500	7,500	継続	女性医師の子育て支援のため、県医師会が行う保育サポーターバンクの設置運営等の事業に対して補助した。
健康福祉部	食品安全課	つづけましょ！食育推進	1,003	789	継続	・ぐんま食育こころプラン2011-2015の普及 ・ライフステージの視点を取り入れ、社会資源の活用、人材の育成(食育推進リーダー)等により地域力を活かした食育を推進した。 ・食育推進サポーター制度による食育ボランティアの育成、活動促進により、地域の食育活動の支援した。
産業経済部	産業人材育成課	母子家庭の母等の職業的自立促進	6,070	2,072	継続	母子家庭の母等の職業的自立を促すため、準備講習付き職業訓練を実施した。

(2) 男性にとっての男女共同参画の推進

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化スポーツ部	人権男女共同参画課	父親の子育て支援講座			継続	男性の側からの男女共同参画を推進するため、子育て中の父親・夫婦を対象にした講演会などを実施し、男性の子育て参加や仕事と子育ての両立を促進した。

(3) 育児休業・介護休業の取得促進

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化スポーツ部	人権男女共同参画課	事業所における男女共同参画推進員の設置(2-(1)、3-(4)、5-(1)、6-(1)、推進体制3再掲)	524	211	継続	男女共同参画推進条例の規定に基づき、事業所に対して職場の男女共同参画を中心となって進める推進員の設置を依頼し、情報提供、研修、講演会等により推進員の取組を支援した。また、群馬県立女子大との協働により、推進員設置事業所へ訪問調査を実施し、優良取組事例の紹介やロールモデルの紹介等を行った。
産業経済部	労働政策課	群馬県育児いきいき参加企業認定制度	1,100	837	継続	育児休業制度の充実・利用促進を図り、働きやすい職場環境づくりを推進する中小企業を支援するとともに、男性の育児参加に対する企業トップの意識改革や働く人の育児休業に対する理解を深めるため、企業向け・従業員向けのセミナー「ぐんまのイクメン・イクボス養成塾」を開催した。

6 雇用の分野における男女共同参画の推進

(1) 男女の均等な機会と待遇の確保の推進

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化スポーツ部	人権男女共同参画課	事業所における男女共同参画推進員の設置(2-(1)、3-(4)、5-(1)(3)、推進体制3再掲)	524	211	継続	男女共同参画推進条例の規定に基づき、事業所に対して職場の男女共同参画を中心となって進める推進員の設置を依頼し、情報提供、研修、講演会等により推進員の取組を支援した。また、群馬県立女子大との協働により、推進員設置事業所へ訪問調査を実施し、優良取組事例の紹介やロールモデルの紹介等を行った。
生活文化スポーツ部	人権男女共同参画課	女性のための起業入門セミナー	1,461	1,437	新規	起業を目指す女性のために、起業についての基礎的な知識を提供するセミナーを開催した。
生活文化スポーツ部	人権男女共同参画課	女性のための起業・創業フォローアップ研修	686	686	新規	起業した女性を対象に、安定的な事業を支援するためのフォローアップ研修を開催した。

7 農山村における男女共同参画の推進

(1) 女性の経済的地位の向上と就業条件・環境の整備

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
農政部	技術支援課	女性農業者活動支援(2- 1)、7-(2)、11-(3)再掲)	1,185	862	継続	農業・農村における男女共同参画の推進を図るため、具体的な推進目標の達成に向け、普及啓発するとともに、女性農業者が個々の能力を十分に活かせる環境づくりや主体的に経営及び社会参画活動にチャレンジできるような支援を行った。また、農業経営のみならず、農業・農村地域の各種方針決定の場に参画する人材を育成した。
農政部	農政課	「はばたけ！ぐんまの担 い手」支援事業	*	*	継続	本県農業の構造改革を加速化するため、認定農業者、新規就農者、企業参入など意欲ある担い手への支援を行った。

(2) 農村女性が活動しやすい環境づくり

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
農政部	技術支援課	農業農村リーダー等活動 促進(2-(1)、11-(3)再掲)	700	713	継続	女性農業者が個々の能力を十分に活かし、また地域におけるリーダー育成を促進するため、活動に意欲的な女性農業者を農村生活アドバイザーとして認定した。また、認定者を対象に研修会等を開催し、その資質向上を図った。
農政部	技術支援課	女性農業者活動支援(2- 1)、7-(1)、11-(3)再掲)	1,185	862	継続	農業・農村における男女共同参画の推進を図るため、具体的な推進目標の達成に向け、普及啓発するとともに、女性農業者が個々の能力を十分に活かせる環境づくりや主体的に経営及び社会参画活動にチャレンジできるような支援を行った。また、農業経営のみならず、農業・農村地域の各種方針決定の場に参画する人材を育成した。

8 高齢者、障害者、外国人など様々な人々が安心して暮らせる環境の整備

(1) 高齢者の就業、社会参画、生活自立に向けた取組、介護の社会化の促進

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
健康福祉部	介護高齢課	介護の仕事PR	1,000	451	継続	「介護の日(11月11日)」を機に、介護についての理解と関心を喚起し、介護職等のイメージアップと働きがいのある仕事であることの再認識を図るため、イベントを開催した。
健康福祉部	介護高齢課	児童・生徒向けパンフ レットの作成	1,961	1,010	継続	将来の介護を担う小・中・高校生を対象に、介護に関する理解を深めるため、福祉教育資料を作成し配付した。
健康福祉部	介護高齢課	介護実習・普及センター の運営	7,944	6,321	継続	介護研修センターにおいて、介護に関する研修を実施し、高齢者介護に関する知識・技術の普及を図った。
健康福祉部	介護高齢課	高齢者の生きがいと健康 づくり支援	40,549	38,980	継続	単位老人クラブ及び市町村老人クラブ連合会の自主活動の促進と健全な育成を図るため、市町村が交付する助成額に対し補助を行った。
健康福祉部	介護高齢課	介護保険制度普及パン フレットの制作	486	443	継続	介護保険制度について県民の理解を深め、制度見直しによる制度安定に向け、周知・啓発用冊子を作成。有償頒布のほか、同内容を県HPに掲載した。
健康福祉部	介護高齢課	介護予防対策推進事業	14,313	13,519	継続	介護予防を行う市町村の支援。市町村担当者や介護予防従事者への研修実施。介護予防や各分野のハリビテーションが円滑に実施されるよう体制整備を推進をした。
健康福祉部	介護高齢課	国保連苦情処理体制整 備補助	6,000	6,000	継続	介護保険サービスに関する利用者からの苦情処理機関である国民健康保険団体連合会に対して、体制整備の支援を行った。
産業経済部	労働政策課	シルバー人材センター事 業補助	16,086	15,977	継続	定年退職後等に自分の能力を活かしたい、また社会参加のために働きたいという高齢者に臨時・短期的又はその他の軽易な就業の場を提供するシルバー人材センター及びミニシルバー人材センター等を構成員とするシルバー人材センター連合に対し補助を行った。
産業経済部	労働政策課	シニア就業支援センター	12,000	11,979	継続	中高年齢者の再就職のための就職相談・職業紹介に加え、就業・起業・ボランティア等の多様なニーズの相談・情報提供を行う就業支援事業とともに、知識・技能を活かしたい高齢者とその能力を必要とする企業データを蓄積・マッチングする事業(能活事業)を実施した。
産業経済部	労働政策課	緊急雇用創出等基金事 業(8-(2)再掲)	*	*	継続	地域の実情に応じた多様な人づくりにより、女性や高齢者等の雇用の拡大と在職者の処遇改善に向けた取組を推進する事業を実施した。

(2) 障害者の自立支援と社会参画促進

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
健康福祉部	障害政策課	障害者グループホーム 等整備推進	120,500	117,290	継続	グループホーム開設のための建築費・改修費、初度備品購入費等について補助した。
健康福祉部	障害政策課	思いやり駐車場利用証 制度	1,000	966	継続	「思いやり駐車場利用証制度」の実施により対象者がいつでも車いす駐車場を利用できる環境を整備した。
健康福祉部	障害政策課	福祉のまちづくり推進	195	101	継続	「人にやさしい福祉のまちづくり条例」に基づく施策を推進した。(普及啓発、特定生活関連施設の届出審査、適合証交付)
健康福祉部	障害政策課	重度身体障害者(児)住 宅改造費助成	9,000	5,998	継続	上・下肢、体幹又は視覚に重度障害を有する者(児)及び家族による住宅設備改造について補助した。
健康福祉部	介護高齢課	高齢者住宅改造費助成	*	15,487	継続	所得税非課税世帯で60歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯等を対象に、市町村が家屋のバリアフリー工事を伴う改造費用を助成した場合に市町村補助を行った。(在宅要介護者総合支援(高齢者分)のメニュー事業)
産業経済部	労働政策課	障害者雇用対策	1,008	391	継続	障害者雇用に係る優良事業所等の表彰・セミナーや事業主向けの職場見学会を開催した。
産業経済部	労働政策課	障害者就労サポートセン ター	4,611	4,136	継続	県庁における特別支援学校高等部の生徒の職場体験の受け入れや、関係機関との連携による県内10地域における就労支援ネットワークの構築等を実施した。
産業経済部	労働政策課	緊急雇用創出等基金事 業(8-(1)再掲)	*	*	継続	地域の実情に応じた多様な人づくりにより、女性や高齢者等の雇用の拡大と在職者の処遇改善に向けた取組を推進する事業を実施した。
産業経済部	産業人材育成 課	障害者能力開発	19,524	9,944	継続	障害者の職業能力開発機会の充実を図るため、次の事業を行った。 ・障害者委託訓練(知的・身体・精神障害者を対象とした委託訓練)
県土整備部	交通政策課	市町村乗合バス車両購 入費補助	10,215	9,724	継続	県民生活の足を守るため、市町村が運営する路線バスの、車両購入経費を補助した。
県土整備部	交通政策課	交通施設バリアフリー化 補助	0	0	継続	駅のバリアフリー化に要する経費の一部を補助した。
県土整備部	交通政策課	バス運行対策費補助(車 両償却費等)	20,960	20,953	継続	赤字の生活交通路線を運行するバス事業者に対して、バリアフリー車両の購入に係る減価償却費等を補助した。

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
県土整備部	道路管理課	道路におけるバリアフリー対策	*	*	継続	県管理道路におけるバリアフリー対策を行った。

(3) 多文化共生のまちづくり

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化スポーツ部	NPO・多文化共生推進課	多文化共生推進士養成講座(群馬大学と連携)及び連携事業	200	200	継続	群馬大学と連携し多文化共生の視点から地域活性化を展開できる人材を育成及び認定多文化共生推進士との連携による課題解決を図った。
生活文化スポーツ部	NPO・多文化共生推進課	多文化共生理解促進事業	132	41	継続	一般県民向けに多文化共生理解促進のための講演会等を行った。

9 生涯にわたる健康づくりの推進

(1) 生涯を通じた女性の健康支援

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
健康福祉部	保健予防課	周産期医療対策	181,591	119,659	継続	周産期医療体制の整備を図るため、県が指定及び認定した総合・地域周産期母子医療センターに対する運営費補助や、事業推進のために周産期医療対策協議会を開催するとともに周産期医療情報システムの運営を行った。
健康福祉部	保健予防課	虐待予防対策	713	536	継続	育児不安のある親や発達に遅れがみられる児等の保護者を対象とした相談を実施するとともに、個別支援を行うことにより虐待を未然に防いだ。
健康福祉部	保健予防課	先天性代謝異常等検査	50,167	49,496	継続	生まれつき酵素やホルモンが欠けているために起こる、早期治療が有効な6疾患について検査を行うとともに、検査の結果、要観察や要治療となった児については小児医療センターが中心となって事後フォローを行う。平成25年度10月から新しい検査法(タンデムマス法)を導入し、対象疾患を19疾患まで拡大した。
健康福祉部	保健予防課	女性特有のがん対策推進	2,323	2,155	継続	乳がん検診及び子宮頸がん検診等の環境整備(マンモグラフィ技術講習会、啓発普及等)を実施した。
健康福祉部	保健予防課	不妊専門相談センター事業	1,927	1,750	継続	不妊や不育症に悩む夫婦等が気軽に専門相談を受けられるよう、群馬県健康づくり財団内に設置した不妊専門相談センターにおいて、電話予約による個別相談を行うとともに、不妊相談窓口となる市町村等母子保健従事者向け研修を実施した。
健康福祉部	保健予防課	特定不妊治療費助成事業	331,991	278,367	継続	高額の治療費がかかる特定不妊治療(体外受精・顕微授精)について、経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない治療費の一部を助成した。(中核市事業への補助(安心こども基金)を含む)
健康福祉部	保健予防課	女性健康支援センター事業	1,000	1,000	新規	思春期の悩みや望まない妊娠、子育て相談など女性の生涯にわたる心身の健康に関する相談を受ける体制を整えた。

(2) 性に関する適切な指導及び啓発活動の充実

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
健康福祉部	保健予防課	エイズ予防啓発事業	1,884	1,436	継続	青少年に事業所や街頭でキャンペーンを実施する。正確な情報の提供に努め、教育委員会との連携を強化し、啓発事業を行った。
健康福祉部	保健予防課	特定感染症検査事業	7,005	5,986	継続	HIV等感染者の早期発見を図るため、各保健福祉事務所にHIV抗体検査等及び相談事業を無料、匿名で実施した。
教育委員会	健康体育課	性に関する教育・エイズ教育指導者研修会の開催	56	27	継続	学校において、性に関する教育及びエイズ教育が効果的に実施されるよう指導方法等の普及啓発を図った。
教育委員会	健康体育課	県立高等学校エイズ講演会推進事業の実施	245	184	継続	県立高等学校(高等部)で実施する性・エイズ講演会の経費を措置し、性及びエイズ教育の推進に役立てた。

10 教育・学習の充実

(1) 学校教育における男女平等・人権教育の推進

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
教育委員会	義務教育課	人権教育研修・指導	115	76	継続	公立小学校、中学校及び特別支援学校の教員を対象に、地区人権教育研究協議会を開催し、授業研究会等を通して、指導力の向上を図った。
教育委員会	義務教育課	人権教育推進関係会議	16	14	継続	校種別の人権教育推進協議会や県市町村人権教育推進連絡協議会を開催し、人権教育推進のための課題や施策に関する協議・情報交換等を行い、教員の指導力の向上や市町村における人権教育の改善・充実を図った。
教育委員会	義務教育課	人権教育・啓発	408	259	継続	啓発資料等の作成・配布や、啓発ビデオの購入を行い、学校教育及び家庭教育における人権教育の推進を図った。
教育委員会	義務教育課	人権教育研究推進	1,810	1,165	継続	小中学校各1校及び総合推進地域1地域を指定するとともに、指定校等連絡協議会を開催し各学校の取組内容や実践上の成果・課題等について協議することを通して、指導方法の改善充実を図った。

(2) 地域、家庭における教育・学習の推進

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画大学連携 講座			新規	男女共同参画社会に関する高い知識を提供するため、大学と連携し講座を開催した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画実践講座			継続	地域における男女共同参画を推進するため、実践活動のポイントを学ぶ講座を開催した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	地域における男女共同 参画促進セミナー			継続	講演、事例紹介を通じ、地域における男女共同参画の推進について考えるセミナーを開催した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	とらいあんぐるん世界遺 産登録記念講演会			新規	「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を通じて、女性の活躍について学ぶ講座を開催した。
教育委員会	生涯学習課	くま県民カレッジ	1,550	1,338	継続	県、市町村、大学、カルチャーセンター等の様々な機関と連携し、多様な学習機会を提供した。
教育委員会	生涯学習課	人権教育指導者研修会	313	176	継続	社会教育における人権教育推進の中核となる指導者を対象に、その資質の向上を図るための研修を実施した。
教育委員会	生涯学習課	人権教育指導者養成講 座	500	500	継続	人権問題に関する啓発活動の充実に資するため、人権教育指導者養成講座を開設し、社会教育における人権教育指導者の資質の向上を図った。

(3) 科学技術分野における取組

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	理工系チャレンジ支援セ ミナー			継続	理工系分野への女性の進出を啓発するため、女子高校生を対象とするセミナーを開催した。
生活文化 スポーツ部	文化振興課	自然史博物館の運営	229,711	218,930	継続	群馬の自然をわかりやすく学べるようにするだけでなく、利用者の学習活動を応援したり、専門的・技術的な調査研究成果の発表の場を提供した。
教育委員会	生涯学習課	少年科学教育推進	6,610	6,528	継続	子どもたちに体験型の学習機会を提供するため、科学展示室やプラネタリウムを運営、また科学教室を開催した。
教育委員会	生涯学習課	くま天文台：教育普 及・観測研究	24,356	24,028	継続	県民に広く親しまれる教育・学習施設として、学校等における学習プログラムの提供、出張講演会や天体観測会を実施した。
教育委員会	生涯学習課	くま昆虫の森運営	108,760	107,900	継続	自然体験学習の場として整備した昆虫の森において、自然観察会や里山体験等各種プログラムを実施した。

11 協働・参画型社会の基盤づくりと国際社会への貢献

(1) 県民参加・県民との協働による行政の推進

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	くま男女共同参画セン ターの運営(推進体制1- 5)再掲	22,191	20,642	継続	県における男女共同参画推進の活動拠点として、くま男女共同参画センターの管理運営と各種事業の実施を行った。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画協働事業 (推進体制4再掲)			継続	民間団体とくま男女共同参画センターとの協働で、セミナー等を実施した。
生活文化 スポーツ部	NPO・多文化共 生推進課	NPO・ボランティアサロ ンくま運営	7,300	7,279	継続	NPOやボランティアに関する相談、情報収集・提供、施設・設備の提供等を通じてNPOやボランティア団体等の支援を行った。
健康福祉部	健康福祉課	ボランティアセンター運営 費補助	11,870	12,482	継続	県民がボランティア活動に参加するための気運の醸成や環境整備等を推進するため、県社会福祉協議会「くまボランティア・市民活動支援センター」の運営費等を補助した。
環境森林部	環境政策課	美しい郷土を守る県民大 作戦	580	459	継続	・春の環境美化月間(5～6月)県、市町村、団体等が環境美化活動を実施した。 ・秋の環境美化月間(9～10月)市町村が中心になって環境美化活動を実施した。

(2) 防災・災害復興分野における取組

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
総務部	危機管理室	県民防災塾	49	10	継続	地域社会で中心となって防災に取り組み、自主防災組織等のリーダーとして活躍できる人材の育成、発掘等を目的に、防災に関する講義、初期消火訓練、普通救命講習等の実習を内容とする県民防災塾を開催した。
総務部	危機管理室	被災地視察研修会	85	64	縮小	自主防災組織の新規結成や活動の活性化、また地域防災を担う人材の育成を通して地域防災力の向上を図るため、被災地視察研修会を開催した。
生活文化 スポーツ部	NPO・多文化共 生推進課	災害ボランティアネット ワーク	180	180	継続	災害ボランティア活動のネットワーク組織である「災害ボランティアくま」を支援し、災害時に迅速かつ適切に活動できる体制を整備した。

(3) 地域おこし・農村活性化・まちづくり、観光分野における取組

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
企画部	地域政策課	地域づくりネットワーク推 進	2,209	2,205	継続	地域づくり団体と県、市町村で構成される「群馬県地域づくり協議会」の運営を通して、多様な主体相互の交流と連携を図った。
農政部	技術支援課	農業農村リーダー等活動 促進(2-(1)、7-(2)再掲)	700	713	継続	女性農業者の主体的な社会参画を促進するため、活動に意欲的な女性農業者を農村生活アドバイザーとして認定した。また、認定者を対象に研修会等を開催し、その資質向上を図った。
農政部	技術支援課	女性農業者活動支援(2- 1)、7-(1)(2)再掲)	1,185	862	継続	地域活性化に貢献する農村女性起業の活動を支援した。また、農村女性団体が主体的に取り組み食農教育活動、地域農業情報の発信事業の支援を行った。
産業経済部	商政課	商店街活性化コンペ事業	2,521	2,414	継続	中心市街地や商店街の活性化を図る団体、グループ等から公募しコンペ形式で選定した活性化事業の実施を補助した。
産業経済部	商政課	買い物弱者対策	2,168	599	継続	商店街等が行う買い物弱者支援事業に補助するほか、補助対象事業の継続性を高めるためのフォローアップを実施した。また、買い物弱者支援に取り組む事業者の交流会を開催した。
産業経済部	商政課	商店街活性化支援事業	10,000	9,370	継続	商店街の活性化を図るために商店街団体等が行う集客イベント、空き店舗活用、地域連携等のソフト事業や街路灯や情報関連設備導入等のハード事業に対して、事業費の一部を補助した。

推進体制の整備

1 県の推進体制

(1) 群馬県男女共同参画推進協議会

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	群馬県男女共同参画推 進協議会の設置	0	0	継続	知事を会長とし、庁議メンバーで構成される会議において、男女共同参画の推進に関する重要な施策について協議するために設置した。

(2) 男女共同参画推進責任者

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画推進責任 者(庁内)の設置(1-(1)再 掲)	0	0	継続	県が実施する施策を男女共同参画の観点から点検するとともに、職場の男女共同参画を促進するため、各所属に男女共同参画推進責任者を設置した。

(3) 群馬県男女共同参画推進委員会

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	群馬県男女共同参画推 進委員会(1-(1)再掲)	632	377	継続	男女共同参画推進条例の規定に基づき「群馬県男女共同参画推進委員会」を設置し、男女共同参画の推進に関する重要事項を審議した。

(4) 男女共同参画に関する意見の申し出の受付

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画に関する 意見の申出の受付(1-(1) 再掲)	0	0	継続	男女共同参画推進条例の規定に基づき県民及び事業者からの男女共同参画に関する施策についての意見に回答した。

(5) ぐんま男女共同参画センター

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	ぐんま男女共同参画セン ターの運営(11-(1)再掲)	22,191	20,642	継続	県における男女共同参画推進の活動拠点として、ぐんま男女共同参画センターの管理運営と各種事業の実施を行った。

2 市町村との連携

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	市町村男女共同参画行 政担当者会議	27	24	継続	市町村担当職員を対象とした研修・会議を実施し、市町村による男女共同参画行政の推進を支援した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	市町村男女共同参画行 政施策状況調査	0	0	継続	市町村における男女共同参画行政の施策調査を実施し、市町村による男女共同参画行政の推進を支援した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	地域連携男女共同参画 講演会			継続	市町村等とぐんま男女共同参画センターとの共催で、男女共同参画に関する講演会を実施した。
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	12市男女共同参画担当 者情報交換会			継続	男女共同参画の取り組みが効果的に実施できるよう、県・ぐんま男女共同参画センターと12市の担当者による意見交換を行った。

3 事業者との連携

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	事業所における男女共 同参画推進員の設置(2- (1)、3-(4)、5-(1)(3)、6-(1) 再掲)	524	211	継続	男女共同参画推進条例の規定に基づき、事業所に対して職場の男女共同参画を中心となって進める推進員の設置を依頼し、情報提供、研修、講演会等により推進員の取組を支援する。また、群馬県立女子大との協働により、推進員設置事業所へ訪問調査を実施し、優良取組事例の紹介やロールモデルの紹介等を行った。

4 NPO・ボランティア団体等との協働

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画協働事業 (11-(1)再掲)			継続	民間団体とぐんま男女共同参画センターとの協働で、セミナー等を実施した。

5 計画の進行管理

部局名	課名	事業名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	実施 区分	事業内容
生活文化 スポーツ部	人権男女共同 参画課	男女共同参画に関する 年次報告(1-(2)再掲)	81	81	継続	男女共同参画推進条例の規程に基づき、男女共同参画の推進の状況及び男女共同参画の推進に関する県の施策の実施状況について報告書を作成し公表した。